

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2014年12月1日
ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2015年3月期 第2四半期決算概要

2014年9月期決算概要	3
2015年3月期見通し	3
ホッカン・グループ紹介	4
ACTIVE-5数値計画	5
ACTIVE-5基本戦略	6
ACTIVE-5海外事業進捗	7
ACTIVE-5既存事業進捗	8
ACTIVE-5新規(M&A)事業進捗	9
ACTIVE-5新規(M&A)事業進捗	10
ACTIVE-5進捗まとめ	11

常務取締役 山崎 節昌

2014年9月期決算詳細

連結セグメント別概要	13
連結損益計算書	16
連結貸借対照表	17
連結有利子負債の圧縮	18
連結キャッシュフロー計算書	19
連結決算 2015年3月期見通し	20
連結設備投資	21

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表	23
要約連結損益計算書	24
要約連結キャッシュフロー計算書	25

【参考】会社概要

プロフィール	27
経営理念	28
本社と各社工場	29
沿革	30
お問合せ先	31

2015年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

2015年3月期 第2四半期決算

単位:百万円、%

	2014年9月期		2013年9月期
		前年同期比 伸び率	
売上高	83,051	▲7.5	89,768
営業利益	1,525	▲53.7	3,291
経常利益	2,143	▲45.4	3,929
純利益	1,241	▲44.7	2,243

2015年3月期 業績予想

単位:百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期
	通期見通し	前期比 伸び率	通期実績
売上高	164,000	▲3.4	169,714
営業利益	2,900	▲23.0	3,765
経常利益	3,700	▲20.3	4,639
当期純利益	2,100	6.8	1,966

■ 決算概要

夏場の天候不順、円安による原材料価格の上昇、エネルギーコスト上昇等の影響を大きく受け、売上高、営業利益、経常利益、純利益を年初見込みから下方修正。

■ 通期見通し

上期の結果を受け、売上高、営業利益、経常利益について前期比で減収減益の見込み。純利益については前期比増益を見込む。

ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス
(持株会社)

持分法適用会社

トーウンサービス
(物流事業)
ユニバーサル製缶
(飲料缶事業)

北海製罐
(容器事業)

日本キャンパック
(充填事業)

オーエスマシナリー
(機械製作事業)

昭和製器
(飲料缶・食缶)

日東製器
(食缶・エアゾール)

東都成型
(化成品容器)

ワークサービス
(請負事業)

ホッカン・インドネシア
(容器製造・充填事業)

ホッカン・タイ
(容器製造・販売)

コスメサイエンス
(化粧品製造・販売)

西日本キャンパック
(充填事業)

**日本キャンパック
マレーシア**
(充填事業)

**日本キャンパック
ベトナム**
(充填事業)

くじらい乳業
(乳製品製造販売)

KE・OSマシナリー
(機械製作事業)



ホッカンホールディングス本社

ACTIVE-5 数値計画



売上/利益計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期 見通し	16/3期 計画
売上高	1,731億円	1,669億円	1,697億円	1,640億円	1,850億円
営業利益	46億円	49億円	38億円	29億円	75億円
営業利益率	2.7%	3.0%	2.2%	1.8%	4.1%
ROE	5.9%	7.1%	4.3%	/	7.0%

財務計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	14/9期実績	16/3期 計画
有利子負債	464億円	435億円	444億円	479億円	300億円
自己資本比率	29.9%	33.3%	33.4%	34.3%	40.0%
流動比率	96.8%	100.5%	101.8%	102.3%	100.0%

1. TPS(トータル・パッケージング・システム)
2. 環境
3. 海外事業
4. 新規事業(M&A)
5. グループ経営
6. 情報システム

PT.ホッカン・インドネシア 第2製造ライン

- PET無菌充填ライン及び製品倉庫を増設
- 生産ライン試運転を行い本生産へ向け準備中
- 2015年1月 生産開始予定
- 2015年度 2ライン合計 1,000万ケース販売を目指す



製品倉庫を増設



導入工事は順調に進行

日本キャンパック 新ライン導入

- PET無菌充填ラインを第1工場へ導入
- 小型、大型PETボトル兼用ライン
- 年間生産能力:約1,000万ケース
- 投資総額:約66億円
- 2015年春頃 生産開始予定



工事は順調に進行中

ヨーグルト受託製造事業へ進出

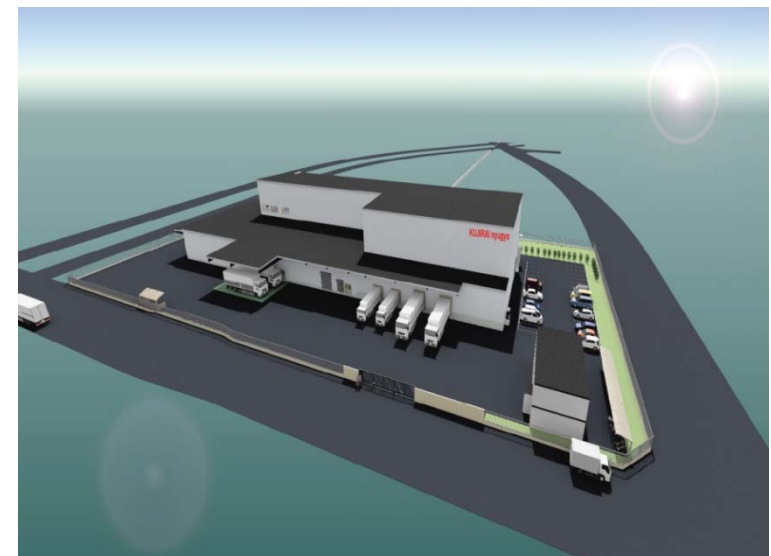
- 2014年6月 くじらい乳業買収 日本キャンパックが子会社化
- 埼玉県行田市に新工場を建設中
- 投資総額: 約39億円
- 2015年6月頃 工場完成予定



くじらい乳業 現行商品

くじらい乳業株式会社概要

設立	1983年3月
所在地	埼玉県熊谷市
資本金	30百万円
事業内容	乳製品製造・乳酸菌飲料製造等



工場完成予想図

バイオガス発電事業開始

- 2015年1月 日本キャンパックにおいて使用済茶葉等の食品残渣を利用したバイオガス発電事業を開始予定
- 発電量 毎時300KW
- 投資事業有限責任組合方式を採用
日本キャンパック出資額は3,000万円
- 食品残渣 約60トン/日をバイオガス発電に使用することで外部廃棄費用の圧縮を実現



バイオガス発生タンク



工事の様子

- 容器事業：構造改革を実施し利益体質へ転換
- 充填事業：業容拡大へ向け新ライン導入
- 海外事業：インドネシア事業の深耕を継続
- 新規事業：ヨーグルト受託製造事業の開始を決定
- 2016年3月期目標達成に向け、業容拡大、生産性向上、損益分岐点の改善に取り組む

2015年3月期 第2四半期決算及び 財務状況詳細

セグメント別概要①

スチール缶事業	飲料用スチール缶	缶コーヒー市場の低迷	前年度比マイナス
	農産缶詰	スイートコーン缶の販売好調	前年度比プラス
	水産缶詰	製品価格の値上げ / 水産原料水揚げの遅れ	前年度比マイナス
	エアゾール缶	自動車関連用品を新たに受注	前年度比プラス
	美術缶	洋菓子関連の新規受注	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	天候不順の影響	前年度比マイナス
	プリフォーム	積極的な営業活動	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響	前年度比マイナス
	一般成形品	化粧品用や住宅用洗剤の新製品を受注	前年度比プラス

容器事業：売上高 22,166百万円 前年同期比 -9.0%

セグメント別概要②



充填事業	缶製品	缶ライン生産能力増強の効果	前年度比プラス
	大型ペットボトル	消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響	前年度比マイナス
	小型ペットボトル	お客様による一貫生産の拡大の影響	前年度比マイナス

充填事業:売上高 58,361百万円 前年同期比-7.0%

機械製作事業	機械製作部門	小袋充填機や金型の販売不調	前年度比マイナス
	エンジニアリング部門	グループ内工事を受注	前年度比プラス

機械製作事業:売上高 506百万円 前年同期比-23.9%

その他	海外事業	PTホッカシ・インドネシアでの順調な受注	前年度比プラス
	構内作業	堅調なグループ内受注	前年度比プラス

その他:売上高 2,017百万円 前年同期比 +0.5%

セグメント別概要③



単位:百万円

	2014年9月期				2013年9月期			
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他
売上高	27,449	58,361	4,320	2,824	30,791	62,733	2,965	2,828
外部顧客向け	22,166	58,361	506	2,017	24,362	62,733	664	2,008
セグメント間	5,282	—	3,814	807	6,429	—	2,301	820
営業利益	80	1,836	43	102	▲276	3,845	83	186
消去	▲537				▲547			
連結	1,525				3,291			

営業利益

- 容器事業: 構造改革を実施し黒字転換
- 充填事業: 夏場の天候不順が大きく影響し減益
- 機械事業: 外部向け販売の不調により減益

連結損益計算書



単位:百万円、%

	2014年9月期			2013年9月期	
		百分比	前年同期比 伸び率		百分比
売上高	83,051	100.0	▲7.5	89,768	100.0
売上原価	74,639	89.9	▲5.9	79,333	88.4
売上総利益	8,412	10.1	▲19.4	10,435	11.6
販管費	6,886	8.3	▲3.6	7,143	8.0
営業利益	1,525	1.8	▲53.7	3,291	3.7
営業外収益	914	1.1	▲1.2	925	1.0
営業外費用	295	0.4	2.8	287	0.3
経常利益	2,143	2.6	▲45.4	3,929	4.4
特別利益	-	0	-	30	0
特別損失	74	0.1	▲26.0	100	0.1
税引前利益	2,069	2.5	▲46.4	3,858	4.3
純利益	1,241	1.5	▲44.7	2,243	2.5

■売上高

6,717百万円減少

夏場の天候不順の影響を大きく受け減収

■営業利益

1,766百万円減少

充填事業不振により減益

■経常利益

1,786百万円減少

営業外収支は前年同期並

■純利益

1,002百万円減少

連結貸借対照表

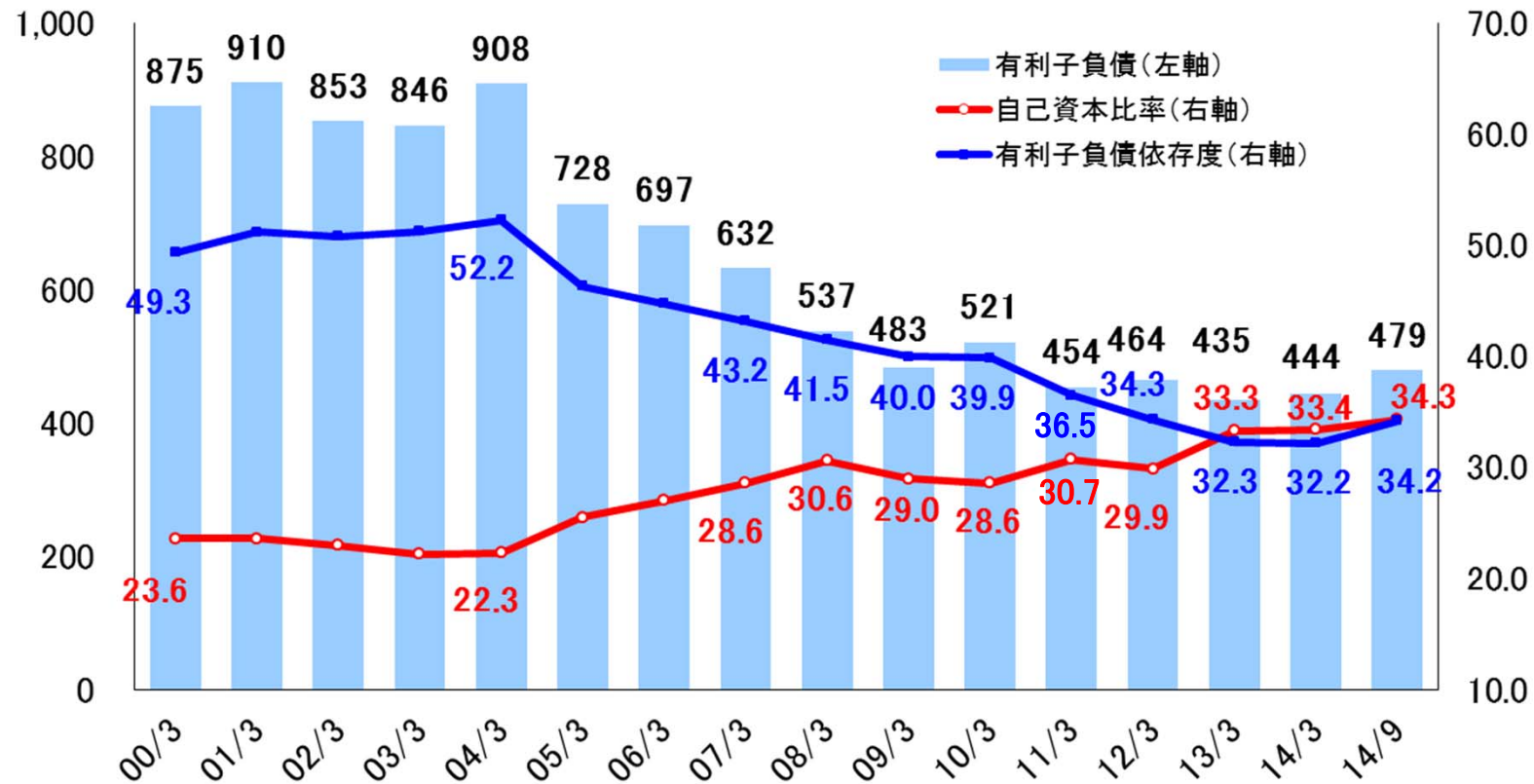


単位：百万円、%

	2014年9月末		2014年3月末		2013年9月末	
		構成比		構成比		構成比
売上債権	32,508	23.2	34,233	27.3	36,805	26.8
棚卸資産	10,602	7.6	10,096	7.2	9,875	7.2
有形固定資産	65,339	46.7	61,748	44.7	59,443	43.3
総資産	139,992	100.0	138,175	100.0	137,358	100.0
仕入債務	25,298	18.1	27,300	19.8	29,441	21.4
短期借入金	13,227	9.4	11,422	8.3	19,266	14.0
長期借入金	34,657	24.8	33,011	23.9	24,473	17.8
純資産	51,926	37.1	49,780	36.0	50,407	36.7

- 総資産は前期末比1,816百万円増加
- 有利子負債は前期末比 3,451百万円増加

連結有利子負債の推移



■ 自己資本比率は前期末比で0.9%増加し 34.3%
■ 有利子負債依存率は前期末比で2%増加し 34.2%

連結キャッシュフロー計算書



単位:百万円

	2014年9月期	2013年9月期
営業活動によるキャッシュフロー	4,603	5,400
投資活動によるキャッシュフロー	▲8,324	▲5,315
財務活動によるキャッシュフロー	2,958	▲86
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲4	▲1
現金及び現金同等物の増減額	▲766	▲3
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	248
現金及び現金同等物の期末残高	1,775	1,715

- 営業キャッシュフローは純利益、減価償却費が増加要因
- 投資活動キャッシュフローは主に充填事業および海外事業における設備投資が減少要因
- 財務活動キャッシュフローは長短借入金の収入、支出が増加要因
- 現金及び現金同等物の増減額▲766百万円
- この結果、手元キャッシュは1,775百万円

連結決算：2015年3月期見通し



単位：百万円、%

	2015年3月期			2014年3月期	
	上期実績	通期見通し	前期比	上期実績	通期実績
売上高	83,051	164,000	▲3.4	89,768	169,714
営業利益	1,525	2,900	▲23.0	3,291	3,765
経常利益	2,143	3,700	▲20.3	3,929	4,639
当期純利益	1,241	2,100	6.8	2,243	1,966

- 売上高は前期比3.4%減の164,000百万円を見込む
- 営業利益/経常利益については売上減少の影響により減益
- 当期純利益は前期比6.8% 増益

連結設備投資



単位：億円

	2008/3 実績	2009/3 実績	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 見通し
設備投資額	40	45	141	90	88	67	101	140
減価償却費	87	79	74	90	92	82	79	81

2015年3月期 予想

- 容器事業： 製缶関連設備等 25 億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備等 59 億円
- 海外事業： インドネシア第2ライン 33 億円
- 新規事業： ヨーグルト事業設備投資 23 億円

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位:百万円、%

	2014年3月期		2013年3月期		2012年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	51,171	37.0	51,663	38.3	54,132	40.0
預金・現金	2,459	1.8	1,470	1.1	1,595	1.2
売上債権	34,233	24.8	36,750	27.3	39,156	29.0
棚卸資産	10,096	7.3	9,728	7.2	9,184	6.8
固定資産	87,003	63.0	83,199	61.7	81,044	60.0
有形固定資産	61,748	44.7	60,319	44.7	62,633	46.3
総資産	138,175	100.0	134,862	100.0	135,176	100.0
流動負債	50,242	36.4	51,389	38.1	55,909	41.4
仕入債務	27,300	19.8	28,754	21.3	32,636	24.1
短期借入金	11,422	8.3	12,385	9.2	14,502	10.7
固定負債	38,152	27.6	35,654	26.4	36,256	26.8
長期借入金	33,011	23.9	31,125	23.1	31,855	23.6
負債合計	88,395	64.0	87,043	64.5	92,165	68.2
純資産	49,780	36.0	47,818	35.5	43,010	31.8

要約連結損益計算書



単位:百万円、%

	2014年3月期		2013年3月期		2012年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	169,714	1.6	166,981	▲3.5	173,123	6.1
売上原価	152,306	2.4	148,770	▲4.4	155,601	5.8
売上総利益	17,407	▲4.4	18,210	3.9	17,522	8.6
販管費	13,641	2.8	13,273	2.9	12,899	5.8
営業利益	3,765	▲23.7	4,937	6.8	4,623	17.3
営業外収益	1,539	▲15.0	1,810	23.5	1,465	15.1
営業外費用	665	▲15.1	783	6.8	733	▲0.7
経常利益	4,639	▲22.2	5,964	11.4	5,355	19.6
特別利益	31	244.4	9	▲90.6	96	166.7
特別損失	949	▲0.6	955	6.1	900	▲55.7
税引前利益	3,722	▲25.8	5,019	10.3	4,551	83.4
純利益	1,966	▲35.4	3,042	31.9	2,306	55.0

要約連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

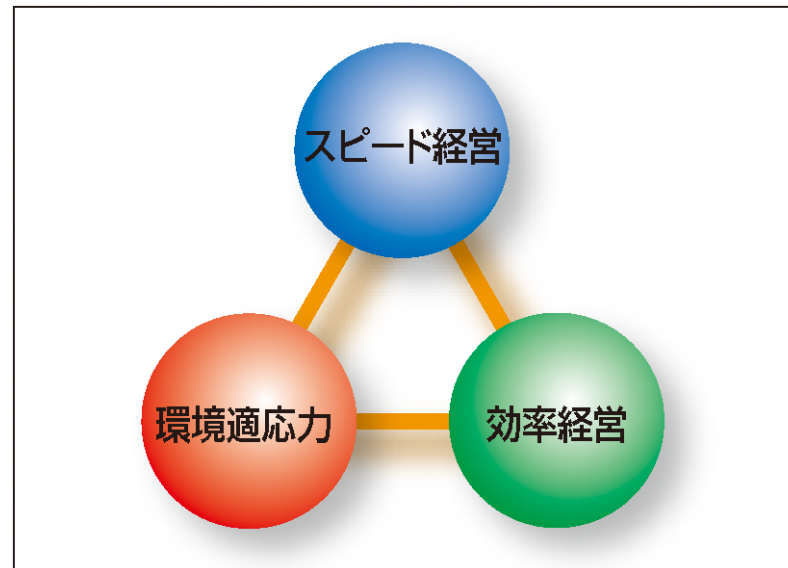
	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	9,710	10,314	6,883
税引前当期純利益	3,722	5,019	4,551
減価償却費	7,884	8,309	9,197
支払利息	445	520	582
有形固定資産除売却損益	331	341	463
売上債権の増減額	2,744	2,530	▲11,837
棚卸資産の増減額	▲383	▲527	▲80
仕入債務の増減額	▲1,767	▲3,121	▲1,765
投資活動によるキャッシュフロー	▲9,743	▲6,650	▲10,375
有形固定資産の取得による支出	▲8,186	▲5,061	▲9,534
有形固定資産の売却による収入	0	26	26
財務活動によるキャッシュフロー	673	▲3,775	1,418
短期借入金の純増減額	▲546	▲1,948	▲300
長期借入金の純増減額	1523	▲970	1,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	▲13	▲299
現金及び現金同等物の増減額	741	▲125	▲2,372
現金及び現金同等物の期末残高	2,459	1,470	1,595

[参考] 会社概要

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証（証券コード:5902）
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号



昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を推し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	館林工場
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
	コスメサイエンス
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア
タイ	ホッカン・タイ

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



OSマシナリー 群馬工場

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
岐阜県	西日本キャンパック
埼玉県	くじらい乳業
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム



日本キャンパック 利根川工場



北海製罐 岩槻工場

沿 革

- 1921年 北海製罐倉庫(株)創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐(株)設立(旧北海製罐倉庫(株)は小樽工場となる)
- 1948年 過度の経済力集中排除法に基づき、経済力集中企業に指定される
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその付属設備を分離し北海製罐(株)を設立 資本金5,000万円、本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立(現昭和製器(株))
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立(現オーエスマシナリー(株))
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャニングを設立 (2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更)
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2010年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2011年 PT.ホッカインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立
キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更
- 2013年 ホッカイン・タイ設立
株式会社コスメサイエンスを子会社化



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2014年12月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先:

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

TEL:03-3213-5111